

担当しようとする医療の種類、体制及び設備の表

担当しようとする医療の種類	体制・設備
心臓脈管外科	<p>心血管連続撮影装置及び心臓カテーテルの設備を有していること。</p>
心臓移植	<p>移植関係学会合同委員会において、心臓移植実施施設として選定された施設であること。なお、心臓移植術後の抗免疫療法を担当する医療機関にあっては、心臓移植術実施施設又は心臓移植後の抗免疫療法の実績を有する施設との連携により心臓移植術後の抗免疫療法を実施できる体制及び設備を有している施設であること。</p>
腎臓	<p>血液浄化療法に関する機器及び専用のスペースを有していること。</p>

腎移植	腎移植に必要な関連機器と血液浄化装置（機器）を備えていること。
肝臓移植	<p>移植関係学会合同委員会において、肝臓移植実施施設として選定された施設であること又は「特掲診療料の施設基準等」で定める生体部分肝移植術に関する施設基準を満たしている施設であること。</p> <p>なお、肝臓移植術後の抗免疫療法を担当する医療機関にあつては、肝臓移植術実施施設又は肝臓移植後の抗免疫療法の実績を有する施設との連携により肝臓移植術後の抗免疫療法を実施できる体制及び設備を有している施設であること。</p>

免疫	各診療科医師の連携により総合的な HIV 感染に関する診療の実施ができる体制及び設備であること。
薬局	複数の医療機関からの処方せんを受け付けている保険薬局であり、かつ、十分な調剤実務経験のある（調剤経験 3 年以上の実務経験）管理薬剤師を有していること。また、通路、待合室など、身体障害に配慮した設備構造等が確保されていること。